

新年のごあいさつ



桜川市議会 議長
はやし えつこ
林 悦子



桜川市長
おおつか ひでき
大塚 秀喜

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい平成26年の新春をお迎えのこと心からお喜び申し上げます。

昨年10月の市長選挙におきまして、桜川市の市政一新と再生をお約束させていただき、皆様のご支持を持ちまして、桜川市長の大役に就かせていただきました。

私は「市長はトップセールスマン、桜川市を全国に売り込みます。」「必ず桜川市を元気にします。」と皆様にお話ししてまいりました。

これから、市民の皆様と市職員とともに、桜川市が一致団結して、よりよいまちづくり、元気なまちづくりに取り組んでまいります。

さて、平成17年10月1日に桜川市が誕生してから本年度9年目となります。合併当初の計画はどう実現することができたか、改めて見直し、足腰を固める必要があります。

就任以来2か月、公約の実現に向けた具体的な施策の検討を行っておりますが、桜川市の地域経済も雇用情勢・人口減少・少子高齢化など大変苦しい状況

にあります。また、今後の地方交付金の減額なども予想される中で、桜川市の財政も予断を許さない状況にあります。

このような中、市民の皆様にお約束いたしました6つの基本姿勢、命と健康を守る・産業を元気に・観光活性化・農業振興・教育の充実・行財政の充実を実現するために、皆様のより一層のご理解とご協力が不可欠でありますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

昨年、政府は、景気回復を目的に「復興・防災」「成長による富の創出」「暮らしの安心・地域活性化」の3分野に重点化した「日本経済再生に向けた緊急経済対策」を発表しました。また、日銀の金融緩和策などもあり、日本経済は内需を中心に緩やかに回復しつつあると言われております。しかし、私たちの身近な現状を見たときに、必ずしも景気回復傾向とは言えず、まだまだ持ち直しているとは感じることができないのではないのでしょうか。

一方で、昨年は、猛暑などの異常気象や災害などが続きましたが、明るい話題としては、富士山の世界遺産登録、東京オリピック・パラリンピック開催

新年おめでとうございます。平成26年の年頭にあたり、議会を代表し、ご挨拶申し上げます。

振り返れば、昨年も又、豪雪や台風による集中豪雨など、自然災害に多く見舞われた年でした。加えて、中国の黄砂やPM2.5など、大気汚染や環境破壊がいよいよ国を越えた問題となってきました。

世界に目を向けると、シリアの内戦は解決することなく年を越え、何百万という人々が難民となり国外に流出。日本の隣国との関係も、緊張が増すばかりとなっております。

国内では、デフレ脱却、超高齢化社会への体制づくりが最優先の課題。国内外の難題を克服していく為には、国家の安定、社会の安定が保たなければなりません。

こうした中、昨暮に、駐日アメリカ大使として、キャロライン・ケネディ氏が赴任されました。今でも絶大な人気を誇る御母上、故ジャクリンさんの面影を残し、整形大国のアメリカに在ってシワ取りもせず（失礼！）自然な、大人の女性の素晴らしさは、私も同世代だけに、とても好感が持てます。も

「国家が諸君のために何をなしているかを問うのではなく、諸君が国家に何をなしているかを考えよ」。

この言葉は、視点を変えれば道が見えてくる。人生の意味が変わる、という事にも通じます。

「国家」を、市や学校や家族、友達という言葉に置き換えてみるのです。願わくば、何かを与えられるのではなく、与える側になりたい、待つのではなく動く。いくつになっても自立した人間でありたい、一人ひとりが、そう努力することで、社会に活力が生まれるのではないのでしょうか。

桜川市。市とはいえ、まだまだ人口の少ない町に近いです。課題は多いけれど、大都市が失ってしまった良い面が、まだまだ残っています。特に、教育、医療、介護については、地域の結束や人情など、良いところを存分に活かして、手作りの素晴らしいまちを作っていきたいものです。

大塚新市長を迎え、議会もまた、新しい雰囲気の中で、真剣

決定などがありました。そして、そのオリピック誘致活動で話題になりました「おもてなしの心」を伝える真壁のひなまつりも、本年度12年目を迎えます。

今後、これらのイベントを桜川市の活力に繋げることができればと考えております。また、市役所においても、市民の皆様への「おもてなしの心」をもったサービスに取り組んでまいります。

年末には、長年の懸案でありました、新中核病院建設に向けて筑西市との合意ができ、大きく前進いたしました。今後、県西総合病院の存続などの課題はありますが、桜川市の地域医療を守るため全力で努力してまいります。

さらに、来年の市制施行10周年に向けて、市民の皆様が安全に安心して暮らせる豊かなまちづくりと桜川市の魅力を全国に発信していただけるよう、全力を傾注してまいりますので、市民の皆様より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして、幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

ちろんお父上は故ジョン・F・ケネディ大統領。彼の有名な演説の中に、以下の言葉があります。

「国家が諸君のために何をなしているかを問うのではなく、諸君が国家に何をなしているかを考えよ」。

この言葉は、視点を変えれば道が見えてくる。人生の意味が変わる、という事にも通じます。

「国家」を、市や学校や家族、友達という言葉に置き換えてみるのです。願わくば、何かを与えられるのではなく、与える側になりたい、待つのではなく動く。いくつになっても自立した人間でありたい、一人ひとりが、そう努力することで、社会に活力が生まれるのではないのでしょうか。

桜川市。市とはいえ、まだまだ人口の少ない町に近いです。課題は多いけれど、大都市が失ってしまった良い面が、まだまだ残っています。特に、教育、医療、介護については、地域の結束や人情など、良いところを存分に活かして、手作りの素晴らしいまちを作っていきたいものです。

大塚新市長を迎え、議会もまた、新しい雰囲気の中で、真剣

最後に、この市報が皆様のもとに届く頃には、冬季オリピックが始まっているでしょうか。男女フィギュアは、特に注目されている方が多いでしょう。是非、浅田真央ちゃんに金メダルを！共に応援したいと思います。

無病息災。皆さま、良い一年をお過ごし下さい。心からお祈り申し上げます。

最後に、この市報が皆様のもとに届く頃には、冬季オリピックが始まっているでしょうか。男女フィギュアは、特に注目されている方が多いでしょう。是非、浅田真央ちゃんに金メダルを！共に応援したいと思います。

無病息災。皆さま、良い一年をお過ごし下さい。心からお祈り申し上げます。

